

桃園小学校・向台小学校統合委員会 要点記録

第14回

開催日時	平成31年1月28日(月) 午後6時30分～7時15分	
開催場所	弥生区民活動センター 洋室3、4号	
出席者	委員	金田一榮、小平一位、川本豊、加藤洋右、大石直臣、吉田昌平、大島由美子、越坂部千明、瀧本和江、岩本昌夫、奥愛、高木庸子、田中憲治、中村明子、井上江見子、富永暢久、高橋昭彦、石原千鶴 (敬称略、名簿順)
	事務局	学校・地域連携担当
	その他	教育委員会事務局次長
会議次第	【議事】 1 学校指定品について 2 通学路について 3 校旗について 4 校歌について 5 その他	

第14回 桃園小学校・向台小学校統合委員会 会議要旨

委員長

定刻となったため、これより第14回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。

2年半前に発足したこの統合委員会だが、あと2カ月で中野第一小学校が開校するという運びまで来た。本日を最後の統合委員会としたい。また、統合委員会の終了に当たって、本日は教育委員会事務局次長が出席している。後ほど挨拶をいただく。

1 議事

議事(1) 学校指定品について (2) 通学路について (3) 校旗について

委員長

議事「学校指定品について」、「通学路について」、「校旗について」、一括で事務局から説明を求める。

事務局

学校指定品、通学路についてはお手元に資料がある。

まず、学校指定品については、資料のとおり体育着の上下、通学帽子、水泳帽子になった。在校生の保護者の方にはサイズ調査を既に行ったので、その結果に基づいて3月中旬には各児童にお渡しできるように準備を行っている。

続いて「通学路について」、昨年の10月に開催した統合委員会で、学校から通学路の案について説明があったが、最終的な通学路が図のとおり決定した。図の赤い部分の道路は、新たに今回通学路として指定した箇所、紺色の部分は以前から通学路として指定している箇所である。新たに通学路に指定する部分などには、通学安全指導員の増員を予定している。

続いて「校旗について」、会場の前方に展示しているが、刺繍校旗が完成した。生地の色は江戸紫である。凝った刺繍なので、ぜひ近くでご覧いただきたい。

委員長

意見・質問はあるか。

—特に意見無し—

議事(4)校歌について

委員長

では、「校歌について」事務局の説明を求める。

事務局

中野第一小学校校歌は、作詞家の松井五郎氏、作曲家の沢田完氏に依頼をしており、昨年11月27日に委員の皆様へ視聴会で一度聞いていただいている。その際の意見を参考にさせていただきながら、制作者と相談を重ねてきた。そこで、学校名を入れたバージョンも制作してもらっていたので、そちらを後日送ってもらった。最終的には視聴会で聞いていただいたものに1点修正を加えて、歌詞の3番の最後に中野第一小学校の学校名が入ったものを正式な校歌として、両校の校長先生とも相談しながら、教育委員会事務局のほうで決めた。歌詞の資料がある。完成した中野第一小学校の校歌をこれから披露したい。

委員長

皆さんのお手元に歌詞のプリントがあるので、それを見ながら聴いてほしい。

(校歌)

委員長

すばらしい歌だと思う。こちらの希望を伝えて、3番の最後に第一小学校と入れてもらった。12月24日に本音源のスタジオレコーディングに行ってきた。日本で今一番売れている作詞家・作曲家である両氏にお会いしたが、人間的な柔らかさを感じた。作詞の松井五郎氏は桃園小学校の現地を訪ねたという。「桃園小学校はたしか今、工事をやっていますね」という話が出た。屋上から地域の防災無線の塔をおろす工事で、レッカーが入っている時だったのだが、その場にいた自分以外の誰も知らないような話だった。そこまでして作詞をしていただいたし、レコーディング中、我々がいても全然邪魔にされなかった。非常に良い体験ができた。この歌を歌っているのはひばり合唱団の12名の児童だが、やり取りをしながら20回近く歌っていた。ひばり合唱団を引率する方は皆川おさむさんで、「黒ネコのタンゴ」を歌った方である。彼の祖母がひばり合唱団の創設者だそう。我々は本当にすばらしい世界を見せていただいたと思う。

では、当日同席された委員の感想を伺いたい。

委員

本当にすばらしい貴重な体験をさせていただいた。松井五郎先生の歌詞に対する熱い思いを感じた。また学校の校歌としてつくったが、ぜひ地域にも愛される歌になってもらいたいということで、すごく歌詞を考えて書いてくださったと話されていた。また、沢田先生も一つ一つのことを大事にされていて、「2フレーズ目が大人には少し難しく聞こえるが、子どもたちは素直に受けとめられると思う。不安な気持ちを出している音から、『ここからはじまる』という、希望の音へと変わっていくところを大切につくった」というお話をされていた。この校歌を大事に歌っていきたいと感じた。

委員長

最後は、皆川おさむさんにちらし寿司まで差し入れしていただいた。レコーディング最中、寿司屋さんか何かに頼んでいたように、非常に感激した。

議事（４）その他

委員長

本日の議事は全て終了した。それでは、最後の統合委員会なので、皆さんから一言ずついただきたい。大変長い間いろいろご協力いただき、感謝申し上げます。まず副委員長からお願いしたい。

委員

長い間皆さんにお世話になり、立派な校歌、学校もできて非常に感謝している。自分は戦争を経験した軍国少年だが、向台小学校で経験した学童疎開、それから3月10日の東京空襲、5月25日の山の手空襲を忘れられない。小学校の担任の先生は、我々疎開児童と80歳くらいの頃まで交流があった。最初、練馬区の小学校に見学に行ったとき、こんな立派な小学校ができるのかと驚いた。今まで自分たちは、苦しく、悲しく、本当に何も無い時代に助け合って小学校を維持してきた。そんな自分からすれば、これほどの学校をつくるのは勿体ないのではないかという思いが先に立ってしまったが、皆さんのお話からは、より良い小学校をつくるという意欲を言葉の端々から感じた。

委員

校名では大変もめたが立派な校名になった。校長先生方には、いじめのない学校づくりをお願いしたい。

委員

自分は桃園小学校の出身だが、団塊の世代だったので校庭にプレハブを建て、プレハブと校舎とで、午前の部と午後の部と分けて2部授業を受けたことを今思い出した。その頃の児童数は相当なものだった。校歌は本日初めて聴いたが、自分の世代からすると最後に「中野第一小学校」を3回入れてもらいたいという思いもあるが、これもなかなか良い歌だと思った。これからの子どもたちにとって、とても良い糧になると思う。

委員

自分は桃園小学校出身ではないが、PTAに関わったことから、100周年のころから桃園小学校の周年行事に関わり、10年ごとに130周年まで全部出ている。120周年のときは祝う会の会長もさせていただいた。校名が消えたことには多少複雑な思いがあるが、良い校名と良い校旗、それから良い校歌が生まれて結果オーライだと思う。これから中野を代表する学校に育ってほしい。

委員

歴史ある両校の統合である。「ここからはじまる」は非常に良い歌詞だと思う。強い要望があって、歌詞の最後に校名が入ったと伺っている。本日初めて聴いたが、とても良いメロディだ。この統合委員会に入り、教育委員会や、また両校の校長、副校長、町会長の皆様で、子どもたちのために協力していかなければいけないと強く思った。子どもたちは近くに新しい公園ができたということもあり、わくわくしているという声を多く聞く。子どもたちを良い環境で見守っていけるように、できる限り協力したい。自分の子どもたちも、中野第一小学校でも引き続きお世話になる。

委員

桃園小学校のPTA役員をしている関係で、統合委員会委員をやらせていただくことになった。このような機会に恵まれることは滅多にないので、本当に良い経験をさせてもらった。学校はどうしても、その中の人間関係にしか目が行かないが、統合委員会に参加して、本当に地域の方や卒業生の皆さんが学校のことを考えてくれていて、皆さんに支えてもらっている学校なのだとい

うことを感じた。皆さんの支えがあるから、子どもたちは楽しく学校生活を過ごせてきたのだと感じている。子どもはそれを当たり前と思うかもしれない。地域の皆さんや卒業生の方が両校を誇りに思っている姿を示すことで、子どもも自分の学校の素晴らしさに気付いてくれれば良い。

委員

3年近くお世話になった。一生に一度あるかないかの経験をさせていただいた。この地域の方たちの熱い思いがパワーアップして新校開校を迎えられることを楽しみにしている。これからもよろしくをお願いしたい。

委員

この統合委員会に来るたびに胃が痛くなるような思いだったが、いろいろなことを勉強させてもらった。自分も地域の方に支えていただいて生活できているのだと改めて感じる事ができた。地域の方々に支えられながら、たくさん子どもたちが通い、笑顔が絶えない学校になっていくのだろうと楽しみである。

委員

皆さんから良いお話を聞いて勉強になった。良い経験をさせてもらい楽しい思いができて、本当にありがたい。向台小学校の校歌は、旧校歌の「御国のため、家のため」から始まり、現在の校歌、そして、新しい校歌と三つ聞けることになった。また、今二歳の自分の孫が将来、中野第一小学校に通うので、非常に楽しみである。

委員

自分は地域出身ではないが、自分の意見を反映させて地域をより良くしたいという理由で公募したが、参加して本当に良かったと思っている。校歌を聞いたときは涙が出そうになった。皆さんと一緒にいろいろ決めてきた結果が、最後未来につながっていくような歌で、最後、中野第一小学校で終わるところでは、自分たちもここまで来たのだということを感じた。子どもの声での録音を聴いて、こういうふうに歌うのだなということも想像できて感動した。恐らく第一小学校という名前が決まった経緯やこのような校歌になった経緯を十分分かっていない方もいらっしゃると思うので、自分がこれからできることは、親の立場として、どのような議論を経てここまで来たのかということ伝えていくことかと思う。

委員

自分は向台小学校の出身だが、今回は公募の立場で、未就学児の保護者として参加した。その未就学児も去年1年生になり、その子がまた中野第一小学校に2年生で行ける。自分も向台小学校の歴史に少し足を踏み入れられたようで、とても良い経験ができた。これからも地域で皆さんに会うかもしれないが、そのときはよろしくをお願いしたい。

委員

学校の立場なので、議論ではなかなか難しいところもあったが、精いっぱいやらせていただいた。長い伝統がある両校なので、良い部分は中野第一小学校に引き継がれていけば良いと思う。本日で統合委員会は終わるが、新校舎が出来た後も、いろいろな課題があると思うので、ご協力いただきながら、さらに良い学校をつくっていききたい。

委員

自分は30年前に向台小学校の教員だった。校長として戻ってくると統合を目の前にしていた。おかげさまで、地域の皆様や保護者、子どもと向台小学校の良さを振り返ることができ、良い時期を過ごすことができた。おそらく桃園小学校も同様か、歴史がある分それ以上のものがあつただろうと拝察する。統合して一緒になり、双方が持っていたものが重なるだけでなく、掛け合わせり、さらに強い、熱い地域の思いを持った中野第一小学校になるのではないかと考えている。この会議の場は、双方の学校の重鎮の皆さんにお会いできる恵まれた機会であつたと感謝している。ここで皆さんのご意見を伺い、人柄に触れることができた。今後も子どもたちが中野第一小学校に夢と希望を持って進んでいけるように最後まで頑張るので、お力添えをよろしくをお願いしたい。

委員

2年間統合委員会でお世話になった。この統合委員会に出るたびに、地域の方々の熱い思いを感じていた。この新しい学校づくりに関わらせていただいたことは、貴重な経験だと感じている。また、校旗を見て良いなと思ったし、校歌は未来や夢といった言葉があり、希望に溢れたものだ。希望を持って子どもたちが通える学校になってほしい。これからも地域の皆様のお力添えをよろしくお願ひしたい。

委員

学校側としては感謝の言葉しかない。4月から中野第一小学校が始まるが、これからも皆様の声を受けて、子どもたちをよりよい方向に育てていきたい。今後ともお力添えをよろしくお願ひしたい。

委員長

本日で会議が終わってしまうことに一抹の寂しさも覚える。皆様には、新校に携われる良い経験ができたと思ってもらえるといい。子どもたちの未来を考えた会議に出られたということを実際に嬉しく思うし、この会議をスムーズに運営できたのは、皆様のご協力の賜物である。感謝申し上げたい。では、教育委員会事務局次長から、ご挨拶をいただきたい。

次長

2年半に渡って検討いただき感謝申し上げます。自分が教育委員会に来たのは昨年4月だが、その前から桃園小学校、向台小学校の統合に向けて、皆さんが真摯に、熱心に、真剣に議論していただいた成果がここにあるのだろうと思っている。

最後に各委員の感想も聞かせていただいたが、熱心に議論していただき、本当に頭が下がる思いである。特に委員長には、校歌のレコーディングまで立ち会っていただいた。本当に立派な校歌であると思っている。松井先生や沢田先生の力作ということもあるが、内容自体も児童たちが自分の未来に向けて歌うことももちろんだが、中学校、高校、大学、この地域に住む人が歌っても何らおかしくない、地域に広めていっていただきたいほど立派な内容となっている。

校長先生、副校長先生にも参加していただき、ご要望・ご意見を聞かせていただいたところだが、新しい学校のスタートに当たっては、また地域の皆さんのお力も借りて、学校を盛り立てていかなければいけないと考えている。

この1年、いろいろな学校の授業参観に行ったり、各校長先生、副校長先生にお会いしたりという機会が増えたが、中野区の学校の先生は、真剣に子どものことを考えており、彼らのことなら労苦を厭わない姿勢である。地域の意見を聞きながら対応できる人ばかりなので、気になることがあれば学校に伝えていただければ、ご心配要らないと思っている。

歴史ある二校が統合し、中野第一小学校が4月から新たに開校する。初めは大変なことが多いだろう。十分支援しながら新しい学校が順調に動くように働いていくので、今後ともご支援のほどよろしくお願ひしたい。2年間、この新しい学校のために尽力いただき、感謝申し上げます。

委員長

では、最後に記念撮影をする。これは最後の統合委員会ニュースに掲載する。これで委員会を終了する。

—記念撮影—